

先進的あるいは特色ある教育課程	学校名等	課程
英語の4技能の育成と評価	栃木県立宇都宮女子高等学校	全日制普通科

ア 取組状況について

① 教育課程

(教育課程編成)

- ・本校は開校143年目の高等学校である。各学年7クラス、計21クラス（1学年：普通科、2学年及び3学年：普通科理系SSクラス各1クラス、普通科理系・普通科文系各3クラス）の全日制の学校である。
- ・平成20年度より29年度まで文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定を受け、科学的な視点をもった英語教育の研究開発に取り組んできた。

(授業展開)

- ・ペアワーク、グループワークを積極的に取り入れ、授業の中で英語を使用する場面を多く設定している。また、テキスト教材のリテリングや学校行事に関連したスピーチなどを取り入れている。
- ・授業をできるだけ英語で実施し、1年次から毎週のリスニング演習を取り入れている。
- ・1、2年のコミュニケーション英語の授業で、段階的にディベートを取り入れている。
- ・全学年を対象にALTとのチームティーチングを実施している。特に1年では、英語表現で学んだことをもとに関連づけて実践的にスピーキングができるよう授業を行っている。
- ・1、2年次には各4冊ほどの本を読んで概要と感想を英文で書く活動を行っている。
- ・3年次には総合力を高めるため、英語表現の授業で希望者対象にエッセイライティングの指導を定期的に行っている。

② 教員の指導力向上

(教員研修)

- ・県総合教育センター主催の「英語授業力向上研修」には、平成27年度より5年間で英語科教員全員が受講する計画となっており、指導力の向上を図っている。

(外部人材の活用)

- ・全学年がALTとのチームティーチングを実施しているため、毎週英語での打ち合わせを行っている。

③ 校内組織

- ・英語科教員で外部検定試験の検討対策係を設け、今年度は学校を会場とした実施を検討している。
- ・1年を対象に昼休み等を利用してスピーキングの個人指導を継続して実施する体制をつくっている。
- ・国際理解教育係と連携して、海外留学・外部検定試験・スピーチコンテスト等の情報提供を積極的に行っている。

④ 施設設備

- ・すべての普通教室にスクリーンとLANが設置されており、各階にプロジェクターが用意され授業用ノートパソコンを用いた授業を実施できる。また、タブレットが25台用意され、使用が可能である。

⑤ 取組の成果の（都道府県）全体への普及・共有方法

- ・高教研英語部会での研究協議や研修を通して情報の共有を図る。

⑥ その他

- ・ALTにより希望生徒が自由に英語で会話する会“Lunchtime Table”を実施している。

イ 今後の課題

- ・スピーキング力を高めるため、間違いや失敗を肯定的にとらえさせ、自ら発言する姿勢をどのように持たせていくか。
- ・Can-doリストの活用の仕方。
- ・教員間の授業研究をさらに推し進めるにはどうするか。